



ジョブコーチ支援を通して



当事業団の理念は『ともに生きる心を育み ともに歩む社会の実現』です。

障がいのある方が社会で生きて行くために、夢を叶えるために、あるいは必要とされる人でありたいと願うとき、就労するということが重要な要素となります。対象者の働きたいという思いを少しでも実現に向けて支援させていただき、対象者と事業所の橋渡しを行うのがジョブコーチの支援だと考えます。

ジョブコーチは、支援を通して様々な企業・事業所のバックヤード(裏方の仕事等)を体験することになります。支援課題としては、作業遂行能力の向上と対人関係(コミュニケーション)調整、障がい特性の理解への支援が特に重要です。

現在、支援中の対象者Aさんのケースを紹介します。発達障がいのAさんは、早朝5時に起床し、自分が運転する車で1時間半をかけて通勤し、午前7時～午後4時30分まで勤務されています。将来的には、事業所の都合で午後7時までの残業になることもあるそうです。Aさんも自分に出来るかどうか不安を抱えながらではありますが、毎日本当に頑張られています。

また、元スポーツ選手の対象者Bさんは、競技による後遺症により高次脳機能障がいになり、現在記憶力に障がいがあります。Bさんはこれを補うため、常にメモリーノート(手帳)を携帯し、大事なことを忘れないようにメモされています。Bさんの勤勉実直で何事にもコツコツと取り組む姿に接することで、こちらが逆に力を頂いたりもします。

一日のジョブコーチ支援が終わり、対象者の方が今日はどんな思いで帰られているのか、その後姿を見送りながら、ジョブコーチとして本当に対象者の方が満足できる支援をしたのかといつも考えさせられます。

最近の社会経済情勢から障がい者の就労はかなり厳しい状況にありますが、ジョブコーチ支援を通して少しでも障がい者の方が想いを叶えられるよう支援できればと思います。

現在事業団では、支援センターきらら2人・じょぶライフだいせん3人、計5人のジョブコーチが対象者の就労のため、日々支援を行っています。

ジョブコーチに関するお問い合わせ先

- ・支援センターきらら(河内長野市) tel:0721-53-5988 fax:0721-53-5989
- ・じょぶライフだいせん(堺市) tel:072-245-7485 fax:072-245-7486



対象者・ご家族・事業所から「一言」



ジョブコーチ支援を利用した対象者、ご家族、事業所から一言感想をお聴きました。

対象者の声

知的障害者 更生施設

自分は今、掃除で頑張っています。自分が頑張っているところを見て、きらら就労移行のみんなも、元気で就職目指して頑張ってください。

トライアル雇用中で、本採用目指して頑張っているCさんです。



ご家族から

職場でのコミュニケーションが心配ですが、一人で頑張って、3か月になりました。顔つきもしっかりしてきた感じを受け、出来たら続けて行って欲しいです。

トヨタカローラ南海で洗車作業に取り組み、雇用前実習から本採用されたDさんです

